



年頭のごあいさつ

一般財団法人 東朋会
理事長 久玉 輝美

皆さんあけましておめでとーいびじびます

正月は穏やかな天気が続いたこともあり、箱根駅伝は新記録ラッシュで賑わいました。さらに今年は東京で56年ぶりのオリンピック・パラリンピックが開催されますので一喜一憂する事でしょう。

この平和の祭典を覆すようなアメリカとイランの抗争が年頭に勃発し、ウクライナ機が犠牲となりました。

では東朋会に目を向けますと、設立の趣旨は東洋通信機で働いた仲間が、分け隔てなく、集い、助け合い、セカドライフ生活を充実し、社会に貢献し、元気に生きていくために活動することです。

この趣旨に沿って過去10年間活動してきました。

今後この基本に沿い運営しますが、会の主な活動を確認します。

第一が健康生活の支援です。医療介護制度や健康生活情報を、ミニ通信を通して会員にお知らせしてきました。さらに充実させていきますが、特に身近な介護保険制度については一般に知られていないことが多く、いざという時に役立つ情報を提供したいと思います。

第二が経済生活の支援です。年金制度は会員にとって最大の生活資金とされます。新聞や政府広報などからの重要

な情報をお伝えし、企業年金は直接会社にお問い合わせお知らせすることも致します。また労金やこくみん共済から会員にメリットある情報もお伝えするよう致します。

第三が生きがいの支援です。中心は毎年の懇親会を初め、地域OB会、職域OB会への支援、芸能大会・芸趣百選展・囲碁・ゴルフ・花見・旅行などの開催です。

第四が働いた仲間の音信と交流です。特に遠方の会員にとってミニ通信とホームページの会員情報や仲間の投稿が毎回楽しみと思います。今回100号記念として多くの投稿を頂きました。今後とも会員の趣味・旅行・仕事・思い出など積極的なご投稿を常時お待ちしております。知り得た会員情報はなるべく早くお知らせ致します。

最後に財団法人東朋会の創設と運営にご尽力されました初代理事長の香川修司さんが12月28日ご逝去されました。家族のご希望で4日家族葬が執り行われました。東朋会では近く会費制のお別れ会で故人を偲ぼうと思います、会員多数のご参加をお待ちいたします。